

# This is the record of Johnの逐語訳

聖路加国際病院礼拝堂聖歌隊・東響交響楽団付属東響コーラ. 2011.12.08

Orlando Gibbons作曲 歌詞:(ヨハネによる福音書1:19-23)

	This	is	the	record	of	John,	when	the
	これ	です	定冠詞	記録、行跡	の	ヨハネ(注ご参照)	の時に	定冠詞
	Jews	sent	priests	and	Levites	from	Jerusalem	to ask him:
	ユダヤ人たちが	遣わして、	祭司たち	と	レビ人たちを	から	エルサレム	
	to	ask	him:	Who	art	thou?		
	為に	尋ねる	彼に	だれか	です(古) be動詞二単現	汝(古) you二単主		
	and	he	confessed	and	denied	not,	and	said
	そして	彼は、	告白した。	そして	否定した	でないと	そして	言った
	plainly:	I	am	not	the	Christ		
	はっきりと、明らかに	わたしは	である	でない	定冠詞	キリスト		
一般的訳	これは、ヨハネの証言である。 ユダヤ人たちがエルサレムから祭司たちとレビ人たちを遣わして、 「あなたはだれか」と尋ねさせた時の、 彼は公言して隠さず、 「わたしはキリストではない」と告白した。							
	and	they	asked	him:	What	art	thou	then?
	そして	彼らが	尋ねた	彼に	何	です(古) be動詞二単現	汝(古) you二単主	それでは
	Art	thou	Elias?	and	he	said:	I	am
	です(古) be動詞二単現	汝(古) you二単主	エリア(注ご参照)	そして	彼(ヨハネ)は	言った。	私は	である
	not,	Art	thou	the	prophet?	and	he	answer'd: No.
	「違う」と	です(古) be二単現	汝(古) you二単主	定冠詞	預言者	そして	彼は	「違う」と答えた。
一般的訳	彼らがまた、「では何ですか。 あなたはエリアですか」と尋ねると、ヨハネは、「違う」と言った。 「あなたはあの預言者か」。彼は「違う」と答えた。							
	Then	said	they	unto	him:	What	art	thou?
	それで	言った、	彼らは	に	彼	何	です(古) be動詞二単現	汝(古) you二単主
	that	we	may	give	an	answer	unto	them
	のように	私たちが	出来る	与える	不定冠詞	答え	に	人たち
	that	sent	us.					
	関係代名詞	遣わした	わたしたちを					
	What	say'st	thou	of	thyself?			
	何と	言うのか。	汝(古) you二単主	について	自分自身(古) yourself			
	and	he	said:	I	am	the	voice	of
	そして	彼は	言った	私は	である	定冠詞	声	の
	him	that	crieth	in	the	wilderness:		
	彼	関係代名詞	叫ぶ	の中で	定冠詞	荒野		
	Make	straight	the	way	of	the	Lord	
	作る	まっすぐ	定冠詞	道	の	定冠詞	主	
一般的訳	それで彼らは彼に言った、「あなたはだれか。 わたしたちを遣わした人たちに答えられるように、わたしたちに答えて欲しい。 あなたは自分について何と言うのか」。 彼は言った、「わたしは、荒野で叫ぶ者の声だ」。 『主の道をまっすぐにせよ』と							

## <参考情報>

作曲:Orland Gibbons/オーランド・ギボンス(1583 ~1625)	
<p>英国オックスフォード出身の作曲家。 1583年12月25日受洗 - 1625年6月5日)、 Orlandは父William(1540-1595)の五番目の男子として生まれた。 次男Edward,三男Ellisとともに音楽一家の中で成長した。 イングランド・チューダー朝後期から ジャコビアン時代にかけて活動した作曲家で、オルガニスト。 ケンブリッジ・キングズ・カレッジ聖歌隊で兄エドワードによって音楽の基礎を学び、 1605年、王室礼拝堂のオルガニストとなった。 22年にはオックスフォード大学の学位を授与される。 英国国教会の音楽、ことにウィリアム・バード(1543-1623)が確立した ヴァースアンセムの一層の展開に貢献した。</p>	

	<p>彼は1596年から1598年にかけてイギリスのケンブリッジのキングス・カレッジの聖歌隊に参加した経緯から、このカレッジでは現在も毎年チャペルで彼の命日の典礼を行っている。</p> <p>ギボンスは1606年に学士号を取得した。</p> <p>ジェームズ1世は彼を王家礼拝堂(Chapel Royal)のジェントルマンに指名し、彼はその礼拝堂で少なくとも1615年から亡くなるまでオルガニストを務めた。</p> <p>ギボンスはカンタベリーで卒中のため逝去し、カンタベリー大聖堂に彼の記念碑が建てられた。</p> <p>彼の最も有名な「ヴァース・アンセム(別注ご参照)」は「ヨハネの証はかくのごとし。This is the record of John」であり、これはフルコーラスと交代するソロのカウンターテナーあるいはテノールに降臨節の聖句を置いた作品である。</p> <p>ソロ歌手は各ポイントで相当の技術的な腕前を披露することが要求され、作品は同時に聖句の修辭的效果を説明し、それでいてあからさまでも大袈裟でもないのである。</p> <p>彼はまた、第2礼拝とショート・サーヴィスの2種類の晩課を作っている。</p> <p>前者は詩句と節のすべてを合わせた派生的な作品であり、後者は美しく表現豊かなヌンク・ディミティスを含む。</p> <p>ギボンスのフル・アンセムには、表現豊かな「おお、主よ、御身の怒りで O Lord in thy wrath」や、聖枝祭用の8声の「手を打ち鳴らせ O clap your hands together」などがある</p>
This is the record of John	<p>ウィリアム・ロードが母校オックスフォード大学セント・ジョンズ・カレッジ(St John's College)を訪問した際に作曲された。</p> <p>ウィリアム・ロード(William Laud, 1573年10月7日 - 1645年1月10日)は、17世紀イングランドの聖職者。チャールズ1世の側近で清教徒革命の最中に処刑された。</p>
ヴァース・アンセム (verse anthem)	<p>イギリスの宗教的合唱曲の一種で、合唱のみのフル・アンセムとは異なり、独唱や楽器による伴奏がつく。</p> <p>ヴァース・アンセムにおいて、「ヴァース」と呼ばれる独唱パートと合唱パートが交互に歌われ、オルガンなどの楽器が伴奏につく。</p> <p>独唱パートは装飾して表現力豊かな効果を出すことが期待され、一方、合唱パートは質においてそれと対照的なものを提供する。</p> <p>ヴァース・アンセムは17世紀初期から18世紀中期にかけて発展し、かなりの人気を得た。チャールズ2世の王政復古期、それ以前のモテット形式への関心が復活したが、作曲家たちはヴァース・アンセムを作曲し続けた。</p> <p>とくにチャペル・ロイヤルのために、時には大規模なヴァース・アンサムになることもあった。</p> <p>ヴァース・アンセムの代表的な作曲家には、ウィリアム・バード、オーランド・ギボンス、トマス・ウィールクス、トマス・トムキンズ、ジョン・ブル、ペラム・ハンフリーらがいる。</p>
ヨハネ (羅Ioannem) (英John) (仏Jean) (西Juan) (伊Giovanni) (独Johannes)	<p>イエスが誕生する以前、ユダヤの地に一人の「預言者」が出現した。</p> <p>それが浸礼者ヨハネである。</p> <p>ヨハネは、ローマ皇帝ティベリウスの在位十五年に、ヨルダン川流域で活動を開始した。</p> <p>彼はラクダの毛衣を身に着け、腰には革の帯を締め、イナゴと野蜜を食べていた。</p> <p>その姿は、かつてイスラエルに現れた大いなる預言者エリヤの姿を彷彿とさせるものであった。</p> <p>『旧約聖書』には、次のような予言がある。</p> <p>「見よ、私はあなたより先に使者を遣わし、あなたの道を準備させよう。荒野で叫ぶ者の声がする。『主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ。』この使者こそ、洗礼者ヨハネであった。</p> <p>彼の活動の中心は「洗礼」であった。</p> <p>彼は終末の接近を説き、神に心を向ける(回心する)よう人々に求め、その回心を認証するものとして洗礼を施していた。</p> <p>こうして洗礼を受けることが、終末の審判の際に救われる唯一の手段だというのである。</p> <p>この活動は「罪の許しに至る回心の洗礼」と称され、民衆の絶大な人気を得た。</p> <p>その活動を聞き及んだナザレのイエスも、ヨハネのもとに赴いて彼から洗礼を受けた。</p>
エリヤ	<p>エリヤ(エリア、イリアとも表記する。Elijah)は、旧約聖書に登場するユダヤ人の預言者。</p> <p>『列王記』に名が見え、バアル崇拜への熱心な反対者、ヤハウェ信仰の守護者として描かれる。</p> <p>新約聖書『ヨハネによる福音書』では、旧約聖書を代表する預言者として言及される[1]。イスラーム教においてはイルヤース(إلياس)としてクルアーンに記述される預言者。</p> <p>ユダヤ教ではモーセ以後、最大の預言者とみなされた。</p> <p>イエス・キリストの受胎の際、エリヤはモーセと並んでイエスの傍にあったものとして書かれていることにも[13]、その位置づけの大きさが伺われる。</p> <p>エリヤの死が聖書に記載されていないことから、1世紀当時、エリヤが再来するとの伝承があったことが、新約聖書などから知られる。</p> <p>洗礼者ヨハネもイエス・キリストも、一部からはエリヤの再来とみなされたようである[14]。これはメシア預言と複合して、来るべき救世主の再来を告げるものとされた。</p> <p>福音書は洗礼者ヨハネをこれに否定して書かれている</p>
レビ人	<p>レビ族(レビぞく)はヤコブの子レビを祖とするイスラエルの部族(氏族)の一つである。</p> <p>レビはヤコブの12人の子供の1人であるが、祭司の一族として特別な役割を与えられ継承する土地を持たなかったため、レビ族はイスラエルの十二支族には数えない。</p> <p>聖書(民数記)においても、レビ族は「彼らはイスラエルの人々のうちに嗣業を与えられなかったため、イスラエルの人々のうちに数えられなかった者である。」と書かれている。</p> <p>モーセはレビ族出身である。</p>
ミサとは	<p>もともとは解散という意味—Ite,missa estここで会は終わるので解散</p> <p>キリストと弟子たちの最後の晩餐を象徴的に再現するキリスト教会の最も重要な典礼、その基本は、キリストの体と血にならえパンとぶどう酒を捧げ、神に感謝し、次いでパンを裂き、信者に分ち与えることからなる。</p> <p>楽曲としては、Offertorium(奉唱歌)、Sanctus、Agnus Dei、Communio(聖体拝領唱)が上記の項にそれぞれ対応する</p> <p>荘厳ミサMissa Solemnis-盛式ミサのことで歌唱ミサ(歌ミサ)によりろうそく、香炉などのさまざまなシンボルを使って行うミサ</p>
聖体拝領	<p>聖餐式のとき聖体を受けること</p> <p>聖体—キリストの体のこと、パンとぶどう酒の形をとって現存されているとされる</p>
旧約	<p>古い契約、最初の契約とも呼ばれ、イエス以前の契約を指す。</p> <p>イエスの死と復活に神と人間の関係の刷新を見てそれを新しい契約-新約の成就と考えられ、その新約との対比で解くに意識された旧約は、シナイ契約である</p> <p>シナイ契約はモーセを仲介しシナイ山にて締結された物、内容は一神からイスラエルへの十戒を中心とする立法の揭示と授与そして民によるこれらの遵守の誓い、神から民への祝福、及び神と民相互の義務</p>